

## 交流施設「ふらっと仏生山」がオープンしました！

少子高齢化を見据えてコンパクトな街づくりにしようと、高松市が県農業試験場跡で建設中だった交流施設が、ことでん仏生山駅近くに1日オープンしました。

高松市では国立社会保障・人口問題研究所の予測で2045年に2015年と比べて65歳以上の高齢者が20%余り増加する一方、人口はおよそ37万8,000人とおよそ10%減少すると推計されていて、市は少子化と高齢化を見据えて「コンパクトな街づくりを行う都市計画」(多核連携型コンパクト・エコシティ)をたてています。

計画では高齢者が車を使わず生活できるよう、中心市街地や郊外の駅周辺に都市機能を集約することとしており、郊外の拠点の1つとしてことでん仏生山駅の近くで市が建設を進めていた交流施設「ふらっと仏生山」がこのほど完成し、落成式が行われました。

施設は延床面積がおよそ3,000平方メートルの2階建てで、総合センターでは、行政窓口として住まいや暮らしに関する各種手続きが可能で、健康維持につながるエクササイズ等が開けるスペースや、料理教室に使える調理室等を備えているほか、高齢者の生活をサポートする地域包括支援センターも入っています。

施設の紹介や、イベント情報等の詳細は、<https://www.busshozan-kc.com/>をご確認ください。



# あなぶき不動産流通